

北陸初 環境ラベルを適用開始



福井宇部FBコンの打設状況



福井宇部生コンクリート(福井市上森田5-1-105-1、南谷哲彦代表取締役)は、コンクリートのひび割れ低減を図る環境配慮型「福井宇部FBコン」を製造・開発し、このほど同製品において北陸地区初の環境ラベル適用を開始した。

この環境ラ

ベル(メビウスループマーク)は国土交通省発注工事を対象に、日本工業規格JISに認定(11年12月追補改正)されたりサイクル材を積極使用するならば納入書などに表示可能で、総合評価方式の入札に際して技術提案に奏功するものと期待される。

環境配慮型ひび割れ低減コンクリート

「福井宇部FBコン」拡販へ

福井宇部生コンクリート

この福井宇部FBコンは04年から3カ年をかけた福井県、福井大学、同社およびユーコンによる産学官共同の研究成果をベースに開発。とくに東日本大震災以降、稼働率が高まる火力発電所から発生するフライアッシュを積極的にリサイクル材として活用する製造内容は、生コンの画期的な性能向上とともに生コン製造会社としてリサイクルにも貢献するという社会要請に十分応える一石二鳥の効果を発揮する。すでにこの製品は国土

交通省のNETIS(登録No.KK1100017-A)を取得し、福井県発注の下水処理施設などで実績を上げ、12年度からは国土交通省発注の3工事に於いて橋梁下部工やボックスカルバートなどに採用され現在納入中。ただ当初においては、フライアッシュが環境ラベル相当のリサイクル材とは認められず、同社がJIS所轄の経済産業省にパブリックコメントとして意見具申し認定された経緯があるという。同社はコンクリート診断士3人、およびコンクリート主任技士10人を擁し、環境配慮型コンクリートの必要性や現場で生じやすいひび割れ原因を熟知して、今後も社会的な期待に応えることができるよう積極的に技術提案していきたい考え。